平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

	事務事業名		災害拠点施設整備事業	会計	一般会計	事業No.	635	施策順No.	41-020
			火音拠点旭政策哺争未	事業種別	▶業種別 政策·重点			9-1-5-10-1	
Г	政	策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	危核	幾管理·交通	安全対策室
	施	策	41 災害対策の推進	事業期間	開始	終了	22		

1 事業の目的

		昭和56年以前に建設された拠点施設のうち診断を必要とする建物									
	対象	具体的な数値で表すと(対象指標)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	といえば達し成した。		
事業の目	誰、何に	診断対象拠点施設数(累計)	5	5	6	7	7	C:どちらか といえばで きてない D:ほとんど			
的は「対 象」を「意									達成できて いない		
図」した状態にする ことです		地震等の災害にそなえる。									
	意図 対象を	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	22年度 実績	23年度 目標	目標達成 度		
	対象を どう変 えるか	診断軍施率 100		100	100	100	100 100 100	А			
に対する振り返 に対する振り返 【政策的事業の	支り	平成22年度までで、拠点施設の耐震診断は完了									

2 手段(具体的な取り組み内容) 飯田市地域防災計画に基づき、地震災害等の減災を図るため、拠点施設の耐震診断を行う。

事業の制度 (仕組み)説明

	事業内容	名称	活動量·単位				
22年度 事業内容	耐震診断事業 1 上郷自治振興センター 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階 地上3階 PH1階建て 1,434.00㎡ 上郷公民館 鉄筋コンクリート造 地上3階建 一部地下1階 1,389.85㎡	1 一式	1 11,235千円				
23年度 実施計画							

3 事業コスト

0	7	オーヘド	-		_	
		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	特	国庫支出金	1, 506			
١.	定	県支出金				特定財 源内 訳、補 足事項
手業	源	起 債				
費		その他				
		般財源	11, 044	11, 235	0	
		計 (A)	12, 550	11, 235	0	
	正	規職員所要時間		50		
	臨	時職員等所要時間				
	人	件費計 (B)		179		
		1 Au 1 A	-	11 /1/	l	

4 事業に対する市民や議会の意見 老朽化した施設の改修を要望する。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革 の取組区分	【記載不要】	具体的な 取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比 べての効果額 (千円)	【記載不要】	効果額説明(算 出根拠)、特殊要 因	【政策的事業のため記載不要】

(十円) 6 前期44	. BB 4	7) Hr 40	表示 /:	五/4公十五\							
6 前期4年	- 间(、財産の災害や火災の被害を軽減す	-Z					
他来への 品	上位施策の目		市氏、市内滞任者、財産の災害	、対性の水舌や外次の微舌を軽減す	施標	策の成果指又はムトス	市民が災害にそなている割合(%)				
結びつき							標	火災発生件数(件)			
			•今	後の拠点施設	の整備計画を立てていくうえで、診断	業務は重	要であり貢	献した。			
	4 年	間の振									
- のまなま*		り返り									
この事務事業は施策の目的											
達成にどのよ うに貢献しまし			•計	画的な拠点施	設の耐震改修						
たか		明に向									
		に課題									
	+		·計	計画的な拠点施設の耐震診断の実施							
	4.5	BOF.									
		4年間の振 り返り									
この事務事業の成果を向上											
させるためにとのような工夫を			•計	画的な拠点施	設の耐震改修						
してきましたか		191-c									
		明に向 c課題									
	+		·拠	点施設の構造	規模により異なるが、最小限の経費で	実施した	-0				
		· 88 0 45									
	4年	間の振									
コストを削減す	-										
るためにどの ような工夫をし			·特	になし							
てきましたか	26 H										
		明に向 c課題									
	+		・市	民の安全を確	保する判断のための事業であり行政の	責任に	おいて実施	すべきものである			
	4 年	間の振									
	り返り										
受益者負担の程度、市が関											
与する程度は				になし							
適切でしたか	後期に向けた課題										
			14	寺に多様な主体	を求める事務事業ではない						
多様な主体の役 発揮状況	割の		(2)計	計画的な耐震調	沙 斯						
①その主体は誰		の振り 返り									
どのような役割をたしましたか。											
②その主体が役 発揮するために	、行		•特	になし							
政はどのような(かけをしてきまし	た	後期に									
か、又は、配慮しましたか)	てき	向けた 課題									
			•地	区拠点施設の	耐震診断が計画とおり実施できた						
	4年間の振										
	り返	19									
全体を通じて											
上下で通じて			•計	画的な拠点施	設の耐震改修						
		明に向									
	(††:	:課題									
7 [分多]	音区	別「結	里i	の関係の確	7						

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか ない 対象や意図を修正する必要はありますか ない 成果指標や指標値を修正する必要はありますか ない

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画